

読売新聞朝刊連載で大反響!!

浅田次郎

流道人るにん道中記

まるるわかり  
ブツク



読売新聞





流人道中記

浅田次郎さんの読売新聞連載小説「流人道中記」は、姦通の罪を犯して蝦夷・松前藩への「預」となった旗本、青山玄蕃と、彼の押送を命じられた南町奉行所の見習与力、石川乙次郎の二人旅を描きます。玄蕃がなぜ罪を犯したのかという謎を残しながら進む物語は、道中で出会った人々の様々なエピソードと相まって、多くの読者の人気を集めました。本書では、書籍に収録できなかった宇野信哉さんの挿絵を二十枚以上収め、二人の北上にあわせて各県版で掲載された記事なども再録しています。

なお、8ページ以降は一部ネタバレを含みますので、まずは挿絵を楽しむにとどめ、小説読了後に改めてじっくりご覧いただくことをおすすめします。



浅田次郎  
流人道中記  
まるわかり  
ブック

目次

この本は、読売新聞連載小説「流人道中記」の本編の一部と関連記事を収録した「流人道中記まるわかりブック」(2019年発行)に新たな記事を加え、再構成したものです。登場する方々の年齢やその他データは新聞掲載時のものです。なお、小説は中央公論新社より書籍化され、2023年2月には文庫化されています。

- 4 幕末 若い与力の押送記 2018年6月29日・朝刊特別面に掲載
- 6 江戸から松前まで900キロ 2018年6月29日・朝刊特別面に掲載  
当時の旅人、1日35キロほど歩く
- 8 挿絵が語る 二人の旅路 2018年11月24日・朝刊特別面に掲載
- 12 重なり合う 人生の哀歓 2019年5月5日・朝刊特別面に掲載
- 14 名刺大の絵に魂込めて 2018年11月24日・朝刊特別面に掲載
- 15 こぼれ話 ……読者の疑問に担当記者がお答えします 朝刊文化面、特別面に掲載
- 18 作品の魅力に触れられる  
印象的なエピソードの一部をお届けします。
- 28 流人道中記 ● 埼玉編  
杉戸宿 江戸の面影残す 2018年8月31日・朝刊埼玉県版掲載
- 30 流人道中記 ● 栃木編  
佐久山宿 町おこしに期待 2018年10月3日・朝刊栃木県版掲載
- 32 流人道中記 ● 福島編  
福島宿 道に城下の面影 2019年2月10日・朝刊福島県版掲載
- 34 流人道中記 ● 宮城編①  
大河原宿 全国に発信 2019年2月7日・朝刊宮城県版掲載
- 36 流人道中記 ● 宮城編②  
七北田刑場 悲劇舞台に 2019年6月21日・朝刊宮城県版掲載
- 38 流人道中記 ● 岩手編  
「宿村送り」というお定め 2019年7月2日・朝刊岩手県版掲載
- 40 流人道中記 ● 青森編  
五戸代官所登場に喜び 2019年10月2日・朝刊青森県版掲載

立ち読み版はここまでです。  
この続きは製品版でお楽しみください。